

渡邊 妙美 議員
高齢者の口腔機能の低下を早期に発見し介護予防を
 —各機関が連携できる仕組みづくりを検討する—

問 高齢者が口腔機能を維持することは、介護予防につながる。後期高齢者歯科口腔機能健康調査の内容は。

答 虫歯や歯周病の検査、嚙む力や舌の動き及び飲み込む能力といった口腔機能の検査、歯科医師による口腔機能を向上させるための舌や口の運動や唾液腺のマッサージなどの指導を行う。平成29年度は77歳の人を対象に実施し、受診者の約3分の

問 1に口腔機能の低下が見られた。口腔機能の低下が見られた人に対しての取り組みと、今後の方向性は。

答 対象者には歯科衛生士による口腔機能の維持・向上に係る講話や体操を行う「元気はつらつ教室」を実施している。今後は、健康調査の結果に基づき、健診をした歯科医師と担当ケアマネジャーなどの関係者が連携できる仕組みづくりを検討する。

稲垣 雅弘 議員
「我が事・丸ごと」の共生社会の実現を
 —地域力強化のために包括的な支援体制の構築に取り組み—

問 平成30年4月に社会福祉法が改正され、地域福祉の視点から、個人の課題を地域の課題とし、「我が事・丸ごと」として解決する共生社会の実現が求められることになった。地域福祉に関する認識と行政の役割及び第4次刈谷市地域福祉計画の内容は。

答 地域課題の発見と「我が事」として解決するために、地区社協や地域包括支援センターなどの相談に応じる体制の整備が求められている。地域課題の情報の共有化と支援に係る部署間のさらなる連携を図り、包括的な支援体制を構築していく。



地域ケア会議の様子

加藤 廣行 議員
介護保険料を維持する取り組みは
 —給付の適性を図るとともに、元気な高齢者と担い手を増やす—

問 本市の65歳以上の高齢者人口と高齢化率は。

答 平成30年4月1日現在、29,840人で19.8%である。本市においても、高齢化は確実に進んでおり、要支援・要介護認定者も増加している。

問 介護保険料を維持する取り組みは、状況は5年前と比較すると、どの程度増加したか。

答 給付費ベースで平成24年度は約53億7,900万円、29年度は約65億7,000万円であり、約22%の増加となる見込みである。

問 介護保険料を維持するための取り組みは。

答 適切なサービス利用を促し、給付の適正化を図るとともに、元気な高齢者を増やす取り組みやサービスの担い手を拡充する取り組みをより一層充実させることで、介護保険料の維持に努める。

問 市内で確認されている特定外来生物は。

答 アライグマ、ヌートリア、ウシガエル、カダヤシ、ブルージェル、オオクチバス、セアカゴケグモ、オオキンケイギクなどである。

問 町内会、大学、企業、刈谷環境支援員の会などが行う駆除活動への市の関わりは。

答 運営スタッフとしての人的支援、捕獲した外来生物の処分、活動広報などを行っている。

問 駆除活動を行う団体に対する補助金や捕獲報奨金などを交付する制度を作つてはどうか。

答 現状、財政的な支援、報

問 熊本城復旧基本計画が策定された。刈谷城築城に向けた取り組みとスケジュールは。

答 大規模地震が発生した場合でも可能な限り石垣や建造物の崩壊を防ぎ、人的な被害が発生しないよう、石垣の構造や石積み等の工法、公開時の安全対策などについて、建築基準法をはじめとした関係法令の対応とあわせてまとめていく。その後、具体的な施工方法、使用材料な

問 熊本城復旧基本計画が策定された。刈谷城築城に向けた取り組みとスケジュールは。

答 大規模地震が発生した場合でも可能な限り石垣や建造物の崩壊を防ぎ、人的な被害が発生しないよう、石垣の構造や石積み等の工法、公開時の安全対策などについて、建築基準法をはじめとした関係法令の対応とあわせてまとめていく。その後、具体的な施工方法、使用材料な

問 熊本城復旧基本計画が策定された。刈谷城築城に向けた取り組みとスケジュールは。

答 大規模地震が発生した場合でも可能な限り石垣や建造物の崩壊を防ぎ、人的な被害が発生しないよう、石垣の構造や石積み等の工法、公開時の安全対策などについて、建築基準法をはじめとした関係法令の対応とあわせてまとめていく。その後、具体的な施工方法、使用材料な



健康体操で心身ともに健康に

神谷 昌宏 議員
市が主体となり、特定外来生物駆除に係る積極的な取り組みを
 —外来生物被害予防の普及啓発を図り、生態系維持への関心を高めていく—

問 市内で確認されている特定外来生物は。

答 アライグマ、ヌートリア、ウシガエル、カダヤシ、ブルージェル、オオクチバス、セアカゴケグモ、オオキンケイギクなどである。

問 町内会、大学、企業、刈谷環境支援員の会などが行う駆除活動への市の関わりは。

答 運営スタッフとしての人的支援、捕獲した外来生物の処分、活動広報などを行っている。

問 駆除活動を行う団体に対する補助金や捕獲報奨金などを交付する制度を作つてはどうか。

答 現状、財政的な支援、報

問 熊本城復旧基本計画が策定された。刈谷城築城に向けた取り組みとスケジュールは。

答 大規模地震が発生した場合でも可能な限り石垣や建造物の崩壊を防ぎ、人的な被害が発生しないよう、石垣の構造や石積み等の工法、公開時の安全対策などについて、建築基準法をはじめとした関係法令の対応とあわせてまとめていく。その後、具体的な施工方法、使用材料な

問 熊本城復旧基本計画が策定された。刈谷城築城に向けた取り組みとスケジュールは。

答 大規模地震が発生した場合でも可能な限り石垣や建造物の崩壊を防ぎ、人的な被害が発生しないよう、石垣の構造や石積み等の工法、公開時の安全対策などについて、建築基準法をはじめとした関係法令の対応とあわせてまとめていく。その後、具体的な施工方法、使用材料な

問 熊本城復旧基本計画が策定された。刈谷城築城に向けた取り組みとスケジュールは。

答 大規模地震が発生した場合でも可能な限り石垣や建造物の崩壊を防ぎ、人的な被害が発生しないよう、石垣の構造や石積み等の工法、公開時の安全対策などについて、建築基準法をはじめとした関係法令の対応とあわせてまとめていく。その後、具体的な施工方法、使用材料な



特定外来生物のヌートリア

野村 武文 議員
刈谷城築城について白紙撤回を
 —事業の早期着手に向けて課題解決に積極的に取り組んでいく—

問 熊本城復旧基本計画が策定された。刈谷城築城に向けた取り組みとスケジュールは。

答 大規模地震が発生した場合でも可能な限り石垣や建造物の崩壊を防ぎ、人的な被害が発生しないよう、石垣の構造や石積み等の工法、公開時の安全対策などについて、建築基準法をはじめとした関係法令の対応とあわせてまとめていく。その後、具体的な施工方法、使用材料な

問 熊本城復旧基本計画が策定された。刈谷城築城に向けた取り組みとスケジュールは。

答 大規模地震が発生した場合でも可能な限り石垣や建造物の崩壊を防ぎ、人的な被害が発生しないよう、石垣の構造や石積み等の工法、公開時の安全対策などについて、建築基準法をはじめとした関係法令の対応とあわせてまとめていく。その後、具体的な施工方法、使用材料な

次回発行の2月1日号に視察報告を掲載します

【行政視察】

優れた事業を行う自治体を視察し、魅力ある刈谷市づくりに生かします。

- ◆企画総務委員会 (10月10日～12日)
 - 埼玉県戸田市 「シティセールス戦略について」
 - 栃木県宇都宮市 「宇都宮ブランド戦略について」
 - 神奈川県秦野市 「公共施設再配置の取り組みについて」
- ◆福祉産業委員会 (10月10日～12日)
 - 福島県福島市 「再生可能エネルギー推進について」
 - 千葉県佐倉市 「認知症にやさしい佐倉について」
 - 神奈川県横須賀市 「エンディングプランサポート事業について」
- ◆建設委員会 (10月17日～19日)
 - 埼玉県東松山市 「デマンドタクシーについて」
 - 群馬県前橋市 「空き家対策について」
 - 千葉県千葉市 「市地図情報システムについて」
- ◆市民文教委員会 (10月17日～19日)
 - 埼玉県越谷市 「スクールコンケアについて」「ICTを活用した授業について」
 - 福島県郡山市 「外国人児童生徒に対する教育について」「産後ケア事業について」
 - 東京都日野市 「発達・教育支援センター「エール」について」
- ◆議会運営委員会 (10月24日～26日)
 - 茨城県守谷市 「議会のICT化について」
 - 東京都立川市 「議会のICT化について」
 - 東京都江戸川区 「議会における防災の取り組みについて」

編集後記

かけはし

◆秋も深まり、日の暮れが早いことに驚きます。春夏秋冬、移ろいゆく季節をじっくりと味わいたいものです。しかし、最近は一雨ごとに、初秋、晩秋、そして初冬を迎えるような慌ただしささえ感じるところです。

◆この夏は、災害的猛暑、異例な数の台風上陸、そして北海道胆振東部地震と天災が続きました。被災された方々にお見舞い申し上げます。1日でも早く日常に戻れることをお祈りします。

◆「最小の経費で最大の効果」を改めて意識する必要があると考えます。

◆防犯・防災、子育て支援、健康長寿、生きがいづくり、産業ものづくりの堅持など、必要な施策をスピード感を持って実行し、「住みたいまち」であり続けたいと願うところです。今後市民の皆様とともに刈谷市の未来を考えていきたいと思っております。

◆9月定例会では平成29年度決算を認定しました。財政力は県内トップクラスを維持しています。しかし、法人市民税の一部国税化、輸出入関税の問題もあり、世界経済やこの地域の屋台骨である自動車産業も長期的には不透明です。「最小の経費で最大の効果」を改めて意識する必要があると考えます。

◆防犯・防災、子育て支援、健康長寿、生きがいづくり、産業ものづくりの堅持など、必要な施策をスピード感を持って実行し、「住みたいまち」であり続けたいと願うところです。今後市民の皆様とともに刈谷市の未来を考えていきたいと思っております。

(議会広報委員会)